



国民の森林・国有林

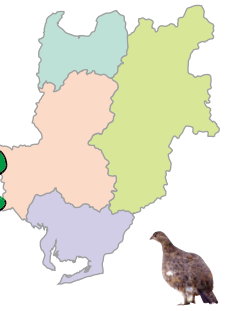
林野庁  
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5  
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

# 中部の森林



メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。  
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



6月の見どころ聴きどころ③—湯の丸高原 咲き誇るレンゲツツジ (北村さんからの投稿)

主な項目	○「木曾悠久の森」写真コンテスト表彰式を実施 .....	P2
	○各地からのたより .....	P3
	○シリーズ「森林官からの便り」 .....	P8
	○シリーズ「ご当地自慢」 .....	P9
	○7月の見どころ聴きどころ .....	P10



**第二回「木曾悠久の森」  
写真コンテスト表彰式を実施**



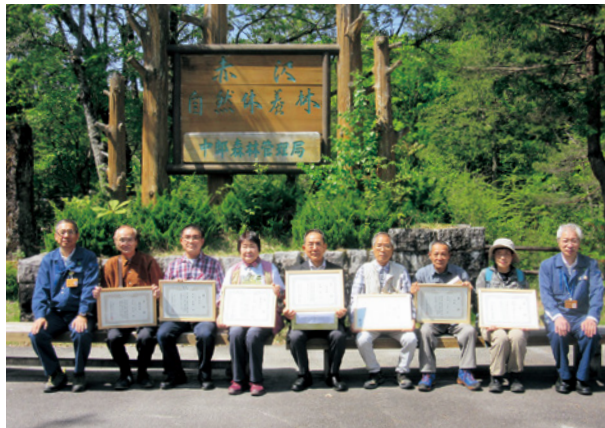
【計画課】 林野庁中部森林管理局では、世界的にも希少で貴重な存在となっている天然のヒノキ、サワラ等の温帯性針葉樹林を「森林生物多様性復元地域（愛称・木曾悠久の森）」に設定し、天然林の保存と、人工林から天然林への復元を図る取組を始めています。

「木曾悠久の森」は、温帯性針葉樹林がまとまって分布するエリアをつなぐ形で長野県上松町、王滝村、大桑村、岐阜県中津川市にわたる国有林に設定しており、その面積は一万六、五七九畝に及びます。

この地域は、大径の天然木曾ヒノキ林が広く残されており、古くから築城や神社・仏閣の用材を供給してきたほか最近では森林浴やキャンプでも楽しまれています。

今回、このように人々との関わりの中で息づいてきた「木曾悠久の森」を多くの人に知っていただくために写真コンテストを開催しました。

コンテストでは、県内外から六十五作品の応募があり、最優秀賞として名古屋市熱田区の青木美智子さんが赤沢自然休養林内で撮影した「悠久の森 太古からのぞく」が、そのほか優秀賞五点、入選五点の十一点が選ばれました。表彰式は平成三十年五月二十七日に木曾郡上松町赤沢自然休養林赤沢森林交流センター前で「第五十五回赤沢森林浴大会（春の部）の開会式」ともに行われ、表彰式では上松観光協会理事などから表彰状が授与されるとともに副賞が贈呈されました。



受賞者の皆さん

受賞作品は、赤沢森林交流センター研修室及び中部森林管理局玄関ホールに一月程度展示しています。

林野庁中部森林管理局では、「木曾悠久の森」の保存や復元に取り組むとともに、その適切な利用を通じて木曾地域の振興に貢献していくこととしています。また、今後も皆様に「木曾悠久の森」を知っていただくための催しを行ってまいりますので、「木曾悠久の森」をぜひ訪ねてみてください。

**最優秀賞作品**



悠久の森 太古からのぞく

中部森林管理局ホームページで、他の入賞作品もご覧いただけます。

(<http://www.rinya.naff.go.jp/chubu/keikaku/kisoyukyuumomori/h30-syasincontest.html>)

**旧帝室林野局木曾支局庁舎  
林業遺産に選定**

【総務課】 旧帝室林野局木曾支局庁舎および収蔵資料群が二〇一七年度林業遺産（No.二六）に認定されました。

当該庁舎は、皇室財産であった木曾谷一円の御料林を管理していた庁舎で、昭和二年に最初の庁舎が大火で焼失したため再建されたもので、当時最先端の装飾美術のアー・デコ様式の建築意匠が随所に見られ、三方にアーチを持つ玄関の車寄せや屋根中央の八角の塔屋が特長となっています。

平成二十二年に木曾町が地域振興の活動拠点を目指す目的に、中部森林管理局から取得し、新築時の図面に基づい



昭和二年に立て替えられた庁舎



て修復工事を  
行ったも  
ので現在は、  
「御料館」の  
愛称で一般  
公開されて  
います。

庁舎内には、明治初期作成の木曾谷模型や御料林時代の道具類、写真、絵葉書、建設当初の庁舎の部品などの貴重な資料が展示されています。



現在の旧庁舎（平成二十八年撮影）

なお、木曾地域に関わる林業遺産としてはすでに「木曾森林鉄道」、「旧木曾山林学校にかかわる林業教育資料ならびに演習林」、「木曾式伐木運材図会」が選定されており、地域全体としての価値の高まりが期待されています。

\*日本森林学会ホームページにて2017年度の林業遺産選定結果と主な内容が公表されています。  
<https://www.forestry.jp/activity/forestrylegacy/catalog/2017.html>

地域共に希少植物を保護



「ふれあいセンター」五月十四日、木曾町城山国有林で地元「城山史跡の森倶楽部」と連携して電気柵の設置作業を行いました。

城山国有林では、長野県の希少野生動植物に指定されているササユリ、ヤマシヤクヤク等が、イノシシによる被害を受けたことから、これらの希少植物を保護するため、平成二十八年度から電気柵の設置に取り組んでいます。

毎年、同倶楽部から多くの会員参加により実施していましたが、今年度は、当初計画した五月七日が



電気柵を取り付け中

雨天のため作業を延期したこともあり、倶楽部からの参加者は四名と例年に比べて少人数となりました。



「ヤマシヤクヤク」の花

足場の悪い中での作業でしたが、電気柵設置も三年目を迎えたことで支柱設置、ワイヤーの取り付けの作業など、協力して手際よく進められ、予定した四箇所の設置を無事に終了することができました。

今年度は春先の陽気も手伝い、例年より十日程度開花が早まっています。城山史跡の森に訪れる訪問者の目をいつまでも楽しませることができるよう、今後も貴重な植物の保全活動を地域の皆さんと共に協働して取り組んでいきます。

各地からのたより

低コスト再造林に向けた

現地検討会を開催

「東濃署・森林技術・支援セン



コンテナ苗用器具で植栽の様子

ター」五月十五日、東濃署管内の湯舟沢国有林において「低コスト再造林に係る現地検討会」を開催し、職員ほか請負者を含め十三名が参加しました。

今回の検討会は、緩効性肥料を用いたヒノキコンテナ苗による低コスト再造林のための育苗及び初期保育技術の開発のため、七百日の緩効性肥料使用の有無と下刈りの有無による成長を比較する試験地を設定しました。

秋山東濃署長の挨拶の後、森林技術・支援センター三村森林技術普及専門官からコンテナ苗用開発された器具及び試験地の植栽方法等の説明を受け植栽を実施し、苗木の番号付け及び計測を行います。



した。

真夏のような天候の中、四〇〇本のコンテナ苗の植栽及び計測を無事終了することができました。植栽した苗については今後三年間生長量測定を実施していきます。

### 国民の森林づくり推進功労者へ 林野庁長官感謝状を贈呈

〔東信署〕五月十五日、東信森林管理署において、東信木材センター協同組合連合会（長野県小諸市、齊藤敏理事長）への長官感謝状の贈呈式を行いました。



小相沢代表理事専務へ  
澤山署長より感謝状贈呈

本制度は平成二十年度から行われており、①森林づくりに功労のあった者、②森林環境保護に功労のあった者、③国産材利用推進に功労のあった者の三つの贈呈基準があり、今回、同センターは、国産材利用推進に功労があった者として中部森林管理局では唯一の受賞となりました。

同セン

ターは、昭和六十二年二月に長野県東信地域のカラマツを主体とする県産材の需要拡大と円滑な流通



東信木材センター場内

を目的に設立されました。

東北、関東、中部、北陸、山陰の各合板メーカーへの原木の販売、東北、四国、九州方面への土木用材の販売、国有林のシステム販売を積極的に活用した集荷量の拡大に取り組み、年間取扱量は、平成十八年度に約三万五、〇〇〇立方メートルから平成二十九年では約一六万立方メートルと、確実に伸びており、地域経済の活性化とそれを下支えする地場産業の振興、雇用の創出にも貢献しているところである。

### 全国植樹祭一年前記念イベント 愛知県植樹祭・ 愛西市植樹祭を開催

〔名古屋事務所・愛知所〕五月



愛知県知事、愛西市長などによる記念植樹

十九日、愛知県愛西市で、平成三十年愛知県植樹祭・愛西市植樹祭、第七十回全国植樹祭一年前記念イベントが実施されました。

式典には、入川名古屋事務所長、酒向愛知所長など関係者を含めて約二千人が参加しました。

式典では、大村愛知県知事から「第七十回全国植樹祭に向け万全の準備を進めるほか、緑に育まれた豊かな愛知を作っていきたい」との挨拶があり、各種コンクールの表彰等も行われました。

また、歌手の岡村孝子さんが作

詞・作曲された全国植樹祭イメージソング「とも・に」が初披露され、来年の全国植樹祭に向けて機運を高めました。

式典終了後、愛西市親水公園内にて記念植樹が行われ植樹祭は終了しました。

### 犬山中学が 二泊三日で木曽総合学習

〔木曽署〕愛知県犬山市立犬山中学校の二年生二百十名が、総合学



ヒノキチップの運搬作業





木曾赤沢の自然と共に記念写真

習のため木曾を訪れ、五月十五・十六日の二日間、当署管内の国有林において体験学習が行われました。

初日は3班に分かれ、「赤沢溪谷を美しくする保護管理協議会」の会員と当署が協働して行っている、上松町の赤沢自然休養林内でのサクラ苗木の植樹や木曾ヒノキ等の根の保護作業を行うとともに、観光客が歩きやすい環境を整えるため、遊歩道にヒノキのチップをまく作業を実施しました。

作業終了後には、「大人になったらこの場所を再び訪れて、植樹した木が大きくなってきているのを見てみたい」「自分でまいたチップで観光客が喜んでくれると嬉しい」といった声が聞こえてきました。

二日目は生徒四、五人のグループに分かれ、木曾地域内で地域の特産品作りや木工・林業体験を実施し、木曾森林管理署では、生徒五人を対象に木祖村にある小木曾国有林内で除伐・枝打体験を実施しました。

犬山中学校総合学習では、木曾川を縁にした上下流域交流の一環で平成十一年から毎年国有林のフィールドを活用しており、当署としても、下流域の将来を担う中学生が森林・林業に理解を深めてもらう絶好の機会と捉え、地元の協議会やNPOと連携し、木曾総合学習を今後とも支援していきたいと考えています。

### 昨年の全国植樹祭のメモリアル

#### とやま森と木のフェスタ開催

【富山署】 富山県公)とやま緑化推



工作ブースで真剣に作品作り

進機構は、五月二十日、富山県射水市の県民公園太閤ランドにおいて「とやま森と木のフェスタ」を開催しました。この催しは、平成二十九年五月に富山県で四十八年ぶりに開催された「第六十八回全国植樹祭」を記念したメモリアルイベントです。

新緑香る好天のもと行われた開会式典には、石井富山県知事をはじめ、宮澤中部森林管理局長も主賓として来場し参加しました。

式典後の記念植樹では、舟橋花と緑の少年団の児童と共に、前回の植樹祭で皇后陛下が植えられた

コシノフユザクラを植樹しました。

富山署もイベントブースを出展し、森林の働きや大切さをPRするパネル展示やウッドクラフト教室を行いました。誰もが自由に参加できる工作ブースには、早くから大勢の児童や親子連れが訪れ、賑わいと活気ある空間となりました。

参加者は、みな真剣な面持ちで思い思いの作品造りに取り組み、発想や表現の豊かさに驚かされる力作が次々と作り出されました。普段の業務では関わることのできない方々とも交流する中で、森林管理署の仕事を知っていただくこともできました。

### 植樹したモミが御用材になるには 百年か二百年後、次世代へ

【南信署】 五月二十日、続けよう植えて育てて緑の輪くをテーマに下諏訪町の『町制施行百二十五周年記念 御柱の森づくり植樹祭・樅の木街道植樹祭』が五月晴れの新緑眩しい爽やかな東侯国有林において来賓、町民、みどり



の少年団、御柱用材を育む会等約二百五十名が参加して盛大に開催されました。

開会式では、主催者を代表して青木悟下諏訪町長から、植樹場所を提供した南信管理署へのお礼とともに「森林は水源林としての役割も果たしている。御柱の御用材になる木を育て御柱の森として守り育てて行くことが大切」との挨拶がありました。当署の久保署長からは、「上流域の下諏訪町で健全な森林を育てると豊かな養分が天竜川を通じて下流域に運ばれ、最終的には河口や沿岸の海の水産



植樹中も木遣り唄を披露

資源も豊かにする。多様な森づくりを推進し国民共通の財産である国有林を次世代に引き継いでいく」との挨拶がありました。

式典では、下諏訪町の木遣り保存会の木遣りが披露され、甲高い「曳行の木遣り唄」が森中に響き渡ると参加者は「これはさんのうえ！よいさ！よいさ！よいさ！」と合いの手を入れて植樹への気分を高揚させていました。

参加者は、「無事に育って将来の御柱になるように！」との願いを込めてモミの苗木を丁寧に植え込んだ後、ニホンジカの食害を防ぐため防鹿ネットで囲う作業を行いました。

今回の植樹祭で、下諏訪町の町制百二十五周年に因んで高さ二メートル程のモミの苗木百二十五本を植樹しました。

当署と御柱の森づくり協議会との間では、平成十四年に、諏訪地方の伝統的な行事である諏訪大社の御柱祭で使用可能なモミ大径材の育成を図ることを目的とした「御柱の森（木の文化を支える森）」の森林整備協定を締結して

います。

今回、植樹したモミが御用材となるには百年、二百年の長い歳月がかかりますが、将来御用材となつて諏訪地方の伝統ある大祭を大いに盛り上げてくれることでしょう。

### 毎回好評の国有林見学開を開催

「ふれあいセンター・名古屋事務所・木曾署」五月二十九日、木曾森林管理署管内の赤沢自然休養林で、木曾川下流域の住民を対象と



説明を聞く参加者

した「木曾の国有林見学会二〇一八春季」を開催しました。

この催しは、木曾川下流域住民の方々に、木曾川源流域の国有林を訪ねてもらい、江戸時代から深い繋がりを持つ木曾地域と木曾川下流域との関係や、木曾地域の林業の歩み、名古屋市の白鳥野木場にたどり着くまでの運材技術の変遷や木材の出材地を実際に見聞きし「四百年の歴史」を体感する中で、日本の森林・林業の現状について理解を深めていただくとともに、木曾地域の支援を目的として開催しました。

当日は天候に恵まれ、名古屋市内を中心に参加された三十六名とスタッフ一名の三十七名が名古屋事務所「熱田白鳥の歴史館」を出発、一路木曾路に向いました。

バスの中では、森林鉄道や木曾ヒノキに関する映像などを見るとともに、途中からバスに乗車した木曾森林ふれあい推進センター所長から、赤沢自然休養林までの景勝地等の説明を受け、想いを膨らませながら木曾ヒノキの生地へと向かいました。





森林鉄道に乗込み森林の中へ出発

赤沢自然休養林に到着後、暖かな春の日差しの下で昼食をとり、森林鉄道で木曽ヒノキの森林と溪流が織りなす景色を眺めながら終点の「丸山渡停車場」に移動し、職員のガイドにより、歴史とともに育まれてきた樹齢三百年余りの木曽ヒノキやサワラが生い茂る林内を散策し、木曽の林業の歴史や運材方法、伊勢神宮との関わり、木曽五木の樹種の見分け方や特徴などを学びました。

また、散策の傍ら赤沢自然休養林内で実施している「パズルラリー」にも挑戦していただきました。

参加者からは「名古屋市では見られない自然が見られ大変よかった」「森林鉄道に乗れてよかった」「まだまだ見たりない」などの感想が聞かれました。

なお、この催しは、木曽復興支援の取組としても位置づけており、今後も実施にあたり参加者の意見・目線をとらえ、より意義のある催しとなるよう努めていきます。

### 伐倒技術と安全作業の向上を

#### 目指して研修会を開催

「東信署」五月三十日、南佐久建設会館（長野県佐久市）、立科国有林一一五林班（同市）を会場に、より安全な伐倒技術を習得するため、長野国有林森林整備協会東信支部と東信森林管理署の共催で伐倒技術研修を開催しました。

講師に日本伐木チャンピオンシップ第一回と二回総合優勝、第三回総合準優勝の前田智広氏（青

森県・有限会社前田林業）とハスクバーナ・ゼノア株式会社マーケティング部の縣毅史氏を招き、当署製品生産事業請負事業体、長野県上田・佐久地域振興局林務課、林業・木材製造業労働災害防止協会ほか約百十名参加の下、実施しました。

午前中の講義では、日本伐木チャンピオンシップ大会の概要や世界大会の概要に加え、競技の内容が実際の作業現場でどう生かされているかなどの説明がありました。



参加者が伐倒作業後の振り返り指導

午後は会場を立科国有林に移し、前田講

師の予め決めた方向に確実に伐倒する実演の

あと、参加者のうち代表五名がそれぞれ伐倒し作業着手前から伐倒終了までの

作業方法、手順、安全面で注目す

べきポイントなどについて講師からアドバイスを受けるなどしました。

現場技能者からは前田講師に対して数多くの質問が出され、安全作業に対する真剣で積極的な姿勢が伝わってきました。本研修会を契機に安全な伐倒作業に心がけ、技術の向上への取組について全員で確認をしたところです。



前田講師（最前列オレンジ色ウェア）を囲んで！





**富山署 常願寺川治山事業所**

常願寺川治山事業所は富山県富山市(旧大山町)に所在し、我が国屈指の急流河川である常願寺川の上流部、スゴ谷にて常願寺川地区民有林直轄治山事業を実施しています。

スゴ谷は、立山カルデラの南側に接した流域です。立山カルデラは、東西約六・五キロメートル、南北約四・五キロメートルの巨大なくぼ地で、立山火山の崩壊と浸食によって拡大した浸食カルデラと言われています。カルデラの縁に位置する鳶山は、安政の大地震(飛越地震)により大崩壊が発生。後に、大量の土砂が下流域の富山平野へ土石流となって流出し、多くの



立山カルデラ

人命や田畑を飲み込み、県土を著しく疲弊させた歴史があります。

富山県は、常願寺川下流一帯の災害復旧対策として、明治時代半ばには県予算の半分以上を治山治水事業に投入。明治三十九年から工事箇所を土砂生産源である立山カルデラ内へ伸ばし、後に国の直轄砂防事業に受け継がれて今日に至っています。

一方、スゴ谷については、立山カルデラからは外れるものの鳶山の南西斜面にあたるため、山地災害対策の対象として関心が高く、昭和四十二年から平成八年まで、富山県が補助治山事業を展開。しかしながら、事業規模が大きく高度な技術を要することから、平成九年度から国の直轄治山事業として事業者主体を改め、現在二十二年目を迎えています。

当地の特徴は、積雪により施工可能な期間が六月から十一月上旬までと短期間であること、また、現地への短絡路が無く有峰林道を大きく迂回する形でアクセスしなければならぬ事情があります。コンクリートの打設可能時期は短

く、かつ、ミキサによる運搬時間が長くなることから、品質の確保はもとより資材費の掛増しが問題となります。

こうした背景から、平成二十七年には、現地の花崗岩もしくは安山岩の大転石を重力式コンクリートダムに内包させることによりコンクリートの運搬・使用量を減らし、コストの縮減や工期の短縮を図る新たな工法にも取り組んだところ です。

また、当地は貴重な自然を有する中部山岳国立公園内に位置することから、山腹工では種子なしの植生基材を吹き付け、現地の植物の定着による緑化を促進するなど、自然環境に配慮した工法で施工を進めています。

事業地へのアクセス路である有峰林道は、総延長九三キロメートルの県営林道であり、日本では珍しい有料林道の一つとなっています。戦前に建設が始まった巨大な有峰ダム建設のために作設されたもので、治山・砂防事業の資材運搬経路になっ

入れ込み者、とりわけ薬師岳(標高二、二九二メートル)や、北アルプス奥地へアプローチする登山者が登山口(折立)まで移動する乗用車で賑わいを見せます。林道ができる以前の薬師岳は、ダムに水没した有峰集落の住民らが薬師如来を祀った信仰の山であり、長時間の登山を経なければたどり着けない名峰でしたが、今では登山道も整備され、朝、富山市内を出発すれば、一泊二日で山頂にアプローチできるようになっています。

皆さんもぜひ夏の有峰へ足を伸ばしてみたいか、がでしうか。



有峰ダムと有峰湖



大内治山技術官





名古屋市のほぼ中央に熱田神宮があります。境内には、本宮、別宮など四三社が祀られ、その面積は約一九畝あり都会の中のオアシスとなっています。

今回は、お宮とは別に境内の見どころについてご紹介いたします。

■信長塀

織田信長が桶狭間出陣の際に、神宮に必勝祈願をして、戦勝のお礼として奉納されたものです。写真などではあまり長く見えませんが、



二十五丁橋



信長塀

が、途中途切れてはいるもの約一二〇畝残っています。

■二十五丁橋

名古屋では最古の石橋といわれている橋です。板石が二十五枚並んでいることから命名されたとのことです。

■お清水

湧き水の中にある苔むした石は享祿の古図（一五二九年頃）にも描かれている楊貴妃の石塔の一部との説もあります。この水で肌を洗えば綺麗になるともいわれています。



お清水

さて、ここからは森林管理局らしく境内の樹木の情報をご紹介します。

■大楠

手水舎近くであり、弘法大師のお手植えと伝えられています。幹周り七・七メートル、



大楠

樹高二〇メートル、樹齢は千年以上といわれています。

■クスノキ

名古屋市の保存樹に指定されているクスノキです。「こころの小径」沿いにあり、幹周り七・八二メートル、樹高が二二メートルの巨木です。



クスノキ

■オガタマノキ

こちらも市の保存樹です。日本神話では、天照大神が岩戸隠れをした際に天鈿女命がオガタマノキを手に踊ったと記されています。



オガタマノキ

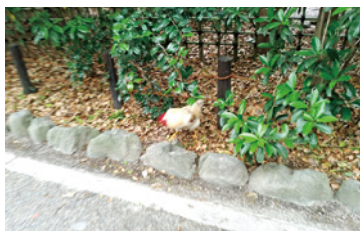
■ならずの梅

毎年、二月には花を咲かせるのですが、一度も実をつけたことが

ないことから「不実梅（ならずのうめ）」と名付けられています。

■神鶏

神宮の境内にはニワトリが放し飼いにされています。ニワトリは神の使いとされていて、運が良ければ出会うことができます。



神鶏



ならずの梅



名古屋市営地下鉄 名城線 神宮西駅、JR熱田駅、名鉄神宮前駅 近く。





## 下包

### ①上旬頃 白馬大雪渓(中信署 白馬村)

白馬大雪渓を訪れるお薦め時期は積雪が落ち着く7月頃から。雪渓サイドには、白馬岳を目指す登山者を優しく迎えるお花畑があり高山の短い夏を彩ります。



### ②上旬頃 美ヶ原高原のレンゲツジ

(中信署 松本市)

日本百名山の一つである美ヶ原高原は、トレッキングのコースも豊富に整備されています。特に、6月下旬から7月上旬に咲くレンゲツジは有名。面積六〇〇鈔の高原は高山植物をはじめ



め、樹木・昆虫・野鳥も。まさにその名のとおり「美しい高原」です。

### ③1日 長野県林業大学校「公開講座」 第1回「木製オリジナルツールを作ろう」

(木曽署 木曽町)

講師がデザインし地域材を使ったオリジナルツール(いす)を自らの手で作り上げる体験(定員及び対象は木曽町の小学生25名)(企画・運営:木曽町教育委員会)

### ④1日 御嶽山合同開山祭

(木曽署 木曽町・王滝村)  
木曽の霊峰「御嶽山」の山開きが行われます。

木曽町黒沢登山口と王滝村王滝登山口で毎年交互に開催され、今年は黒沢登山口がある御岳ロープウェイ山麓で開催されます。会場ではアルプホルンの演奏など式典に花を添えます。

### ⑤1日 ツール・ド・美ヶ原2018

(中信署 松本市)

アルプスを望む景色をみながら、標高差一、二七〇鈔という日本有数の難コースを走る自転車ロードレースが開催されます。

### ⑥1日 立山夏山開き(富山署 立山町)

古来から信仰の山として日本三名山に挙げられる立山の山開き。立山駅前広場(立山町千寿ヶ原)で登山客と観光客の安全祈願が実施されアトラクションも開催されます。

### ⑦6日 乗鞍岳外来植物除去作業

(飛騨署 高山市)

乗鞍岳の貴重な植物保護を目的として、一般の方にもボランティアとして参加していただき、外来植物セイヨウタンポポの除去作業を実施し、作業後、乗鞍岳の雄大な自然や草花に親しんでいただくミニガイドツアーも開催されます。

### ⑧7日 朝日岳山開き(富山署 朝日町)

新潟・富山両県にまたがり、高山植物の宝庫として魅力的な朝日岳。夏山シーズンを迎え、朝日町小川温泉元湯で入山式が開催されます。

### ⑨7日 もりがいる(北信署 長野市)

林業や山の仕事に気になる女子、マイナスイオンを全身で浴びたい女子などなど、日頃のストレス解消に森に入っている時の生命力を感じてみませんか。山に入る時の心得からチェーンソーの使い方まで、基礎から学べます。開催は、鬼無里新ステーション。

### ⑩7日 金華山イノシシ対策シンポジウム

(岐阜署 岐阜市)  
『街(まち)のイノシシと人との関わり方』について考える公開シンポジウムを、関係機関と連携し岐阜大学講堂で開催します。

### ⑪8日 やぶはら高原はくさいマラソン大会

(木曽署 木祖村)  
従来から行っている10キロメートル、5キロメートルに加え、新たに25キロメートルのファミリー・ペア部門を開催。

### ⑫8日 第15回乗鞍スカイラインサイクルヒルクライム

(飛騨署 高山市)

自転車で登れる日本一高いところ、乗鞍スカイライン標高1360鈔地点から2702鈔まで標高差1342鈔全長約18キロメートルを駆け上がるヒルクライムレースが開催されます。

### ⑬12日 「山の日」シンポジウム in 中津川

(東濃署 中津川市)

恵那山をはじめとした山の魅力を発信し、登山など山と親しんでもらうことを目的に、中津川市で開催。当日は、登山、森林セラピーなど山と健康づくりなどの講演のほか、パネルディスカッションも行われます。

### ⑭中旬頃 梅池自然園の花々

(中信署 小谷村)

梅池自然園は日本でも有数の高層湿原。7月がもつとも花の多い時期で園内一周約六キロメートルの木道が設けられており、多種多様な花々が迎えてくれます。7月から8月にかけては、ワタスゲやチングルマの果穂などを見ることが出来ます。



コマクサ



# 中旬

## ⑮中旬頃 乗鞍岳の高山植物が見頃

(飛騨署 高山市)

乗鞍畳平のお花畑周辺で高山植物の女王と呼ばれるコマクサなどが満開です。

## ⑯中旬頃 中央アルプス千畳敷

カールの高山植物が見頃(南信

署 駒ヶ根市)

高低差日本最高のローププーウェイ。雲上の別世界へ。



コバイケイソウ

## ⑰14日 郡上おどり開幕(発祥祭)

(岐阜署 郡上市)

東殿山国有林の麓、八幡城下で7月中旬から9月上旬にかけて三十三夜にわたって踊る日本一ロングランの盆踊りです。

クライマックス

の徹夜踊りは8月

13～16日の4日間

です。

## ⑱14日 高瀬渓谷フェスティバル

(中信署・大町市)

毎年7月21日から7月31日までの「森と湖に親しむ旬間」の前に、ダムや森林の魅力により身近に感じていただけるよ



郡上八幡

う、ダム内部見学をはじめ親子で体験学習できる様々なコーナーが用意されています。

## ⑲15日～8月31日 岐阜城パノラマ夜景

(岐阜署 岐阜市)

金華山国有林山頂に建つ岐阜城。期間限定で夜間営業し展望台からは360度の夜景を楽しめます。

## ⑳18日 三岳夏祭り

(木曽署 木曽町)

女みこしや巨大な樽(男)みこしが迫力満点に担がれます。観客が担ぎ手に向かって水をかけるといふ変わった光景も見られます。2つのみこしが並ぶ姿も見ものとなっています。花火も打ち上げられます。

# 下旬

## ㉑20日 星空観察会イン乗鞍夫婦松

(飛騨署 高山市)

乗鞍夫婦松駐車場標高約2千メートル地点で星空観察会が専門ガイドによる特別解説付きで開催されます。

満天の星空は手の届きそうなほどです。

## ㉒22日 北アルプスグランフォント

2018 (中信署 大町市・白馬村・小谷村・長野市・小川村)

北アルプス山麓グランフォントは、タイムを競う大会ではなく、北アルプス山麓の自然と景観を、思い思いのペースで楽しみながら走るサイクリングイベントです。150キロメートル、120キロメートル、100

キロメートル、70キロメートルの各クラスがあります。

## ㉓22～23日 水無神社例大祭みこしまく

(木曽署 木曽町)

2日間町内を巡行したのち、約百貫(約400キログラム)の白木の神輿を、23日の夜に夕方にヨコに転がし、落として一夜にして壊してしまう勇壮な「天下の奇祭」です。大花火大会も開催されます。

## ㉔25日 乗鞍岳自然観察教室

(飛騨署 高山市)

自然観察指導員等が付き添い、畳平周辺を散策しながら高山植物の観察会が開催されます。



イワギキョウとイワツメクサ

## ㉕28日 全国選抜長良川花火大会

(岐阜署 岐阜市)

金華山国有林の麓を流れる長良川河畔で、毎年、全国から花火師たちが集結し花火の腕を競い合います。打ち上げ数は、約3万発で全国トップクラスの打ち上げ数です。

## ㉖28日 日本百名山縦走トレッキング

(北信署 須坂市)

高山植物を観賞しながら、四阿山・根子岳を縦走トレッキング。澄んだ山の空気の中を約9キロメートル(7時間)散策し、大自然を堪能しよう！参加条件は七十歳以下、健脚で体力に自信がある人。

# 編集長だより あなたの写真を！お待ちしております

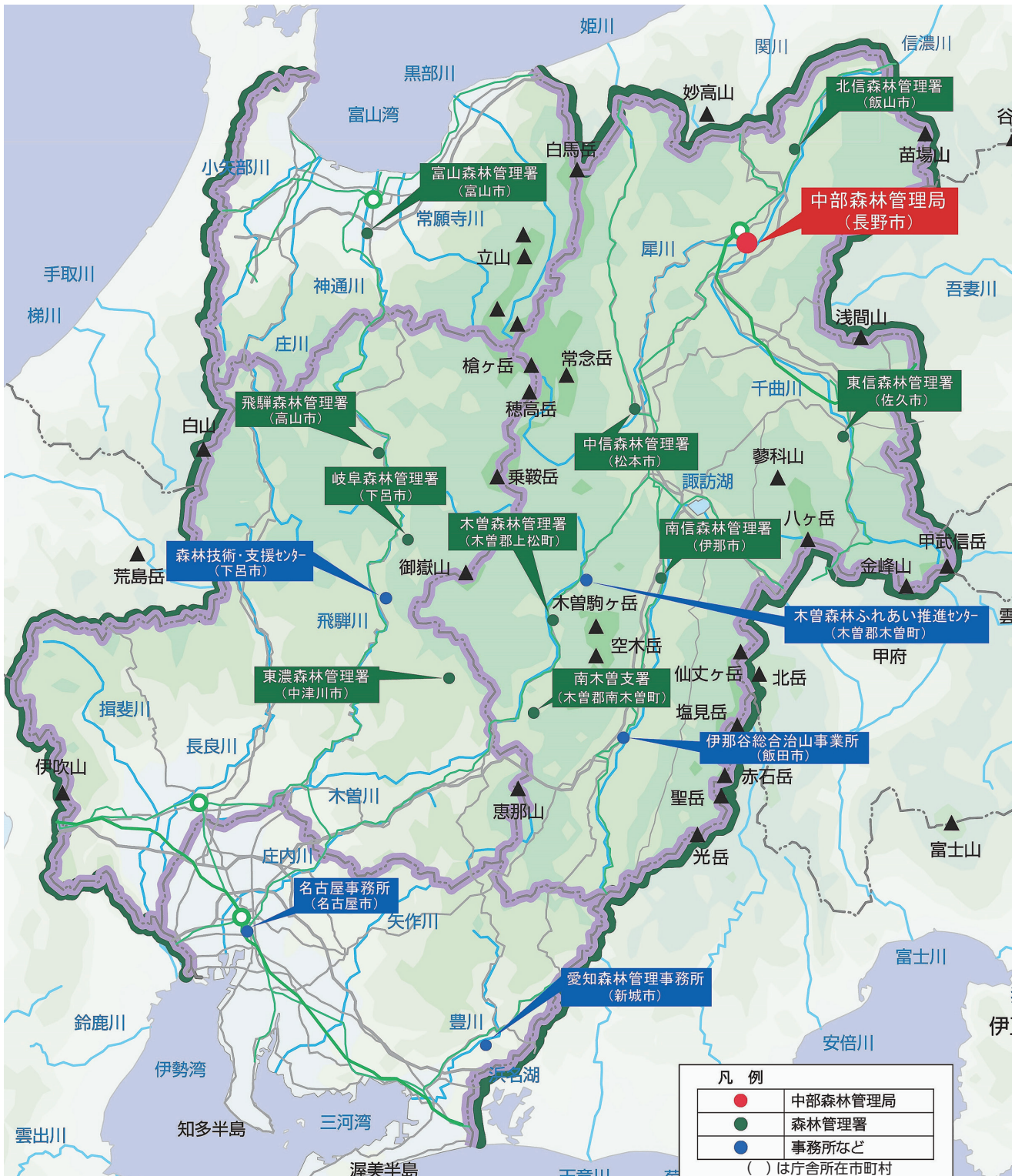
☆いよいよ本格的な夏山シーズンとなり、各地の山では高山植物が花ざかりです。中部森林管理局の国有林には、レベルに応じて楽しめる様々な山があります。

☆暑い都会を抜け出して爽やかな国有林に出掛けませんか。ステキな写真が撮れましたらmigoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。(1メール容量2MB以内)

☆特にステキな写真は、広報誌「中部の森林」の表紙に掲載し紹介させていただきます。あなたの写真が来月号の表紙を飾るかもしれません。投稿をお待ちしております。

ご投稿には、氏名又はニックネーム、整理番号(7月なら①～⑭のいずれか)、撮影日を記入してお送りください。感想やコメントを添えて頂いても構いません。





お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 FAX 026-236-2657

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中区熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曾森林管理署	〒399-5604	長野県木曾郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
※南木曾支署	〒399-5302	長野県木曾郡南木曾町吾妻3859-39	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曾森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曾郡木曾町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3610-6075	FAX 0265-22-0149

※南木曾支署は平成31年1月（予定）まで庁舎工事のため上記に移転中です。